

平成30年度 超高磁場NMR 共同利用研究課題 採択課題一覧

課題番号	実験課題	実験責任者	実験責任者所属
1	回転方向切り替えにおけるべん毛モーター回転子タンパクFligの構造変化の解明	本間 道夫	名古屋大学 大学院理学研究科
2	Rheo-NMRによる生体高分子の動的構造解析	菅瀬 謙治	京都大学 大学院工学研究科
3	Ferredoxin-NADP+酸化還元酵素の基質結合に伴う構造変化のNMR解析	瀬尾 倂介	金沢大学 理工研究域物質化学系
4	フォールディング中間体の分子認識から紐解くタンパク質品質管理機構	島本 茂	近畿大学 理工学部生命科学科
5	高圧力NMR法によるタンパク質の高エネルギー状態の立体構造及び熱力学研究	北原 亮	立命館大学 薬学部
6	CD28と結合するSH2とPET分解酵素Cut190の構造解析	織田 昌幸	京都府立大学 大学院生命環境科学研究科
7	脂質バイセルと溶液NMRを組み合わせた膜タンパク質-脂質膜相互作用解析	長尾 聡	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科
8	逆ミセル封入法によるアミロイドβオリゴマーのNMR構造解析	星野 大	京都大学 大学院薬学研究科
9	蛋白質の機能発現を担う構造動態の13C/15N検出NMR法による解析	吉村 優一	広島大学 大学院理学研究科
10	ミトコンドリア呼吸鎖におけるシトクロム c-シトクロム酸化酵素間の電子伝達機構の構造化学的解析	石森 浩一郎	北海道大 大学院理学研究院
11	疾患関連蛋白質、機能性核酸、木質バイオマスおよびバイオマス分解蛋白質の構造・機能・分子運動 相関解析	真嶋 司	京都大学 エネルギー理工学研究所
12	MincleやPILRαを中心とした免疫細胞表面受容体の活性制御機構の解明	前仲 勝実	北海道大学 大学院薬学研究院
13	特定酵素の可逆的フォールドを担う新規シャペロン蛋白質の解析	尾瀬 農之	北海道大学 大学院先端生命科学研究院
14	糖鎖修飾に依存した抗体の活性発現機構に関わる動的構造の解明	加藤 晃一	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター(分子科学研究所)